

# 「警察署再編整備等総合計画」(案) の概要



## 地域・社会情勢 → 加速度的に変化！

人口の偏在化、24時間型社会の広がり、大型商業施設の出店、高速道路等の延伸、ITインフラ網の整備など

## 事件・事故 → ますます広域化・複雑化！

サイバー犯罪、特殊詐欺、人身安全関連事案などの増加

「組織体制の見直し等の大綱方針」に基づく「総合計画」の策定

## 統合等による組織体制の再編・強化

～「徳島北署・板野署」「徳島西署・石井署」「阿南署・那賀署」の統合 → 県下「10署体制」に～

### 【直接的効果】

- 「パトロール」と「初動対応力」の強化  
板野署庁舎…機動捜査隊・管区機動隊配置  
石井署庁舎…広域自動車警ら隊・鉄道警察隊配置
- 重大事件・事故に対する「捜査力」や災害時における「対応能力」の強化
- 夜間・休日の「勤務体制」の強化
- 「不在駐在所」の解消

### 【間接的効果】

- 「女性警察官」の登用拡大
- ワークライフバランスの実現による「警察力」の質的向上
- 「統合」による財政縮減

## あらゆる災害を想定した拠点・機能の配置

～「南海トラフ巨大地震」「中央構造線活断層帯を震源とする大規模地震」の対応～



### 「南海トラフ巨大地震」への対応

- 最前線活動拠点 (沿岸エリア)  
徳島東・徳島西・徳島北・鳴門・小松島・阿南・牟岐各庁舎
- 活動支援拠点 (中部エリア)  
板野・石井・阿波吉野川・阿波・那賀各庁舎
- 後方支援拠点 (西部エリア)  
美馬・つるぎ・三好各庁舎

### 「中央構造線活断層帯を震源とする大規模地震」への対応

- 最前線活動拠点 (北部エリア)  
徳島北・鳴門・板野・阿波・美馬・三好各庁舎
- 活動支援拠点 (中部エリア)  
徳島東・徳島西・石井・阿波吉野川・つるぎ各庁舎
- 後方支援拠点 (南部エリア)  
小松島・阿南・那賀・牟岐各庁舎

## 交番・駐在所機能の充実・強化

～「社会・治安情勢の変化への対応」「施設整備手法」の検討～

### 【施設整備等の具体的方針】

- 「IPF手法」による施設整備、「リフォーム」による施設の延命化
- 「通い型交番」、「警察官立寄所」など、新たな活動形態の導入
- 自治体・店舗等の施設を活用した「テナント方式」、自治体が管理する「空き家」の活用
- 施設の在り方と配置の見直し ■ 人口減少地域へのフォローアップ

### 第2期宿舍整備計画

- ・老朽宿舍の廃止と集約化
- ・財政的負担の軽減
- ・不要遊休財産の処分  
平成30年春供用開始  
阿南16戸→20戸  
三好20戸→10戸

## 県民のニーズに対応した持続可能な行政サービスの提供

～「運転免許更新センター(仮称)」の設置及び「警察署運転免許更新窓口」の集約等



### 【設置・集約に向けた方向性】

- 「運転免許更新センター」の設置  
～免許人口や警察機能の分散を踏まえ「県南部」、「県西部」の各方面に設置～  
・警察施設・自治体の行政庁舎など「既存ストック」の活用  
・他の警察機能との一体的運用
- 原則、警察署の「運転免許更新窓口」を「運転免許センター」「更新センター」に集約
- 新たな行政サービス「出張型運転免許更新手続」の検討
- 運転免許関係委託業務の見直し等、持続可能な行政サービスの提供の検討

# 警察署の更なる再編整備

～Organizational Restructuring～



## 警察署の統合等

～西部4署の統合の成果を踏まえ、組織体制の見直し等により小規模署や都市部の警察署が抱える諸課題を解決し、治安・災害対策を強化します～

徳島市及び隣接地域の治安状況



平成30年4月 運用開始

**徳島北署+板野署**

警察官:86人 交番:2か所 駐在所:3か所	警察官:71人 交番:2か所 駐在所:6か所
警察官:160人規模 交番:4か所 駐在所:9か所	機動捜査隊 管区機動隊 の配置等
パトカー 徳島北署1台 板野署1台 計2台	➡ 4台運用

---

**徳島西署+石井署**

警察官:93人 交番:4か所 駐在所:4か所	警察官:37人 駐在所:7か所
警察官:140人規模 交番:4か所 駐在所:11か所	広域自動車 警ら隊 鉄道警察隊 の配置等
パトカー 徳島西署1台 石井署1台 計2台	➡ 4台運用

### Concept

初動捜査体制の強化

高速道路網等を活用した広域的な災害対策・・・etc.

### 統合署庁舎の活用 (例)

- 捜査・パトロール・災害対策機動部隊・装備の新拠点
- 津波等、大規模災害発生時における拠点施設機能
- 交通関係窓口業務・・・etc.

平成32年4月 をめどに運用開始

**阿南署+那賀署**

警察官:74人 交番:1か所 駐在所:13か所	警察官:26人 駐在所:4か所
-------------------------------	--------------------

体制等は別途検討

### 統合に対する補完措置

～管内情勢や地域住民の御要望を踏まえ「治安対策」や「行政サービス」に  
間隙が生じることのないよう補完措置に努めます～

#### 交番・駐在所機能の充実・強化

- ～「不在駐在所」の解消に向けた対応～
- ～「通い型交番」等、新たなスタイルによる地域警察活動～
- ～「テナント型」やPFI手法を活用した施設整備～

#### 組織体制の見直し&機動部隊等の 新たな配置・運用

- ～本部員から警察署員への配置振り替え～
- ～管区機動隊・広域自動車警ら隊等  
本部執行隊の警察署への配置～

#### 各種システムの整備

- ～「緊急配備支援」・「通信指令」等  
各種システムの整備～
- ～「防犯カメラ」の整備による  
女性・子どもへの見守り支援～

#### 移動訪問型の情報発信活動や 新たな行政サービスへの取組

- ～ラッピングバス「ふれ愛こだま号」による  
移動訪問型の情報発信活動～
- 「出張型」の免許更新等、新たな行政サービスの提供  
～高齢ドライバーに対するサポート～



## 更新センターの整備

福岡県・渡辺通

ゴールド免許センター

### 多様化する県民ニーズ

#### センター利用者の推移

○運転免許センター利用者が大幅増加  
(H25 51,207人 → H26 79,404人)

#### 更新者対象のアンケート結果

(約3,500人対象)  
○多くの県民が、より近い場所での  
即日交付を希望

福岡県・黒崎ゴールド免許センター

### 全国の導入状況

#### 更新センターの運用状況 (H27末)

○26都府県及び2方面本部(55%)で運用

#### 全国の即日交付率

○更新者の約8割が即日交付の窓口を利用

#### 他府県の視察結果

○参考例～福岡県(更新センターを2施設運用)  
～2施設で年間17万人が利用～

県民のニーズや人口の増減等に柔軟に対応する持続可能なサービスの提供

## 県民ニーズに対応

### 更新センターの設置

○免許人口や警察機能の分散等を踏まえ  
県西部及び県南部の各方面に設置

Concept

～財政負担を考慮し、警察・自治体等の  
「既存ストック」を活用～  
～防災機能の併設や  
他の警察機能との一体的運用～

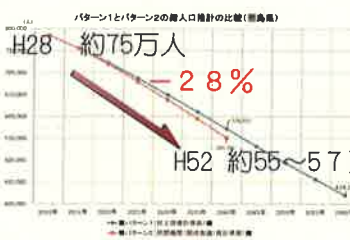
### 更新センターの取扱業務

○運転免許証の即日交付を中心としたサービス  
○原則、警察署窓口をセンターに集約化

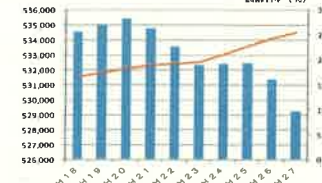


## 持続可能な行政サービスの提供

県内の人口推計



高齢ドライバーの増加



### 徳島版、新たなスタイルの構築

○人口の増減等に柔軟に対応する  
持続可能な運転免許行政の構築  
○「出張型」更新受付等、  
「徳島モデル」の構築  
○自動車教習所や社会福祉協議会等  
との連携 etc.

### 運転免許関係委託事務の見直し等

○持続可能なサービスの提供に向けた  
委託事務の見直し  
○免許証の自主返納等、高齢ドライバーへの対応等  
地域の実情に応じた交通安全活動の推進

### 運用開始時期

○免許作成システム  
リース契約関係  
○更新センターの  
設置場所の決定  
○委託事務の見直し  
○警察署の統合等を  
踏まえ運用開始  
時期を決定

「ふれ愛こだま号」  
による情報発信活動